

G 文 化

生涯教育（G1）に関しては、本年4月の生涯学習審議会「地域における生涯学習機会の充実方策について（答申）」が、社会人の学習にふさわしい新たな教育課程の編成や履修形態の工夫を含めた「社会に開かれた高等教育機関」、特別非常勤講師制度の活用や学校に対するボランティア等の地域社会の支援を含めた「地域社会に根ざした小・中・高等学校」、学習の場や活動など学社両者の要素を部分的に重ね合わせながら、一体となって子供たちの教育に取り組む「学社融合の理念に立った事業展開」などの提起を行った。さらには日本生涯教育学会年報が「学社融合の生涯学習」を特集するなど、学校教育と社会教育との連携から融合へと、生涯学習推進の観点に立って発展しつつある段階としてとらえることができる。一方、岡本包治も栃木県上都賀地区の小中学校調査の事例や一連の著作で、学校教育における地域資源の活用の意義を訴え続けている。

社会教育（G2）に関しては、学校適応サポートを含む青少年自然体験活動推進事業、ウィークエンド・サークル活動推進事業、少年の船事業の報告書などを数多く収録した。平成8年7月、「青少年の野外教育の振興に関する調査研究協力者会議」（飯田稔他）は、青少年の野外教育について「全人的成長を支援するための教育」ととらえ、「生きる力」の育成を図る上で極めて重要と主張した。「公立青年の家の在り方に関する調査研究協力者会議」は、学校・グループ等の利用形態の如何を問わず、最適であると思われる環境の整備、情報化・国際化に対応したインフラ整備を訴えた。第22期東京都社会教育委員の会議は、「一つの固定的な理想像を求めようとする単線型健全育成を前面に掲げる従来の青少年施設は、もはや現代の青少年にとっては魅力がない」として、出会いとやすらぎの場、体験の場、創造・自己実現の場としての、青少年の自己形成のためのユース・プラザの設置を助言した。日本社会教育学会第42回研究大会課題研究「子どもと社会教育」においては、①子どもの文化権と生活・地域（増山均）、②青少年社会教育実践の可能性（沼田伊久俊）、③学校週5日制と青少年の社会参加（岡田忠男）が掲載されている。また、神奈川県青少年総合研修センターは「出会いと交流—青年期の新しい地域活動のあり方」を発行し、監修にあたった西村美東士は、①自然体の育成活動を、②地域と人間の真実に出会う、③対象から主体へ、対策よりも支援を、④不幸せな現代社会と大人たち、⑤フツウの大人たちも幸せになれる育成活動、⑥フツウ

だからこそ、ワガママだからこそ、自立の地域活動、とまとめて新しい青年教育のあり方を提起している。そのほか、建設省公園緑地課が「管理から場の提供者へ」を合言葉に、環境教育の場としての身近で安全な公園の役割を積極的に評価し、ワークブック等を発行した。

国立青年の家・少年自然の家については、平成6年の、青年の家、少年自然の家などの文部省所轄の国立の社会教育施設に対する総務庁の行政監察、7年の「国立青年の家・少年自然の家の在り方に関する調査研究協力者会議」の報告（①青少年の自主性を育てる、②学社融合を目指して、③地域の中核に）、8年の生涯学習審議会答申などのそれぞれの指摘を受け、それまで先行していた少年自然の家に加え、とくに青年の家が、資料面においても、国立という名に匹敵するだけの質や量のものを発行するようになってきている。国立中央青年の家では、まちづくりを担う青年の役割に注目し、全国の240あまりの青年の家が教育施設としての役割を果たすようになることをねらって、「学ぶ青年全国集会」の参加者を対象にした地域活動の現状に関する意識調査などを行っている。

文化活動（G3）に関しては、インターネット、パソコン通信、ポケベル、メディア等の青少年に関する影響などに関する文献を数点収録した。また、西村美東士は、「何にムカツているのか？—癒されない若者文化たち」において、同質の仲間集団とあわせて仲良くやっというところとする若者のピアコンセプトを批判し、サンマ（時間・空間・仲間の三間）で得られる「癒し」による対抗文化としての生成の必要を説いている。藤村正之は、マクロな社会現象に積極的に関与しようとはせず、ミクロな社会たる他者像も十分に結びえない若者たちに残された物語は、等身大の自己という物語であるとし、イッキ飲みやカラオケ・ボックスで象徴的に展開されている若者たちのコミュニケーション世界について「みんなぼっちの時代」と指摘している。

指導者（G5）に関しては、青少年対象の「生涯学習ボランティア活動総合推進事業」の報告書を多数収録した。国際交流（G7）に関しては、例年のとおり洋上大学、海外派遣事業等を多数収録したが、そのほか、同じ地域に在住する外国人との交流事業や、国際理解のための学習事業なども少しずつ増えてきている。

（担当 西村美東士）